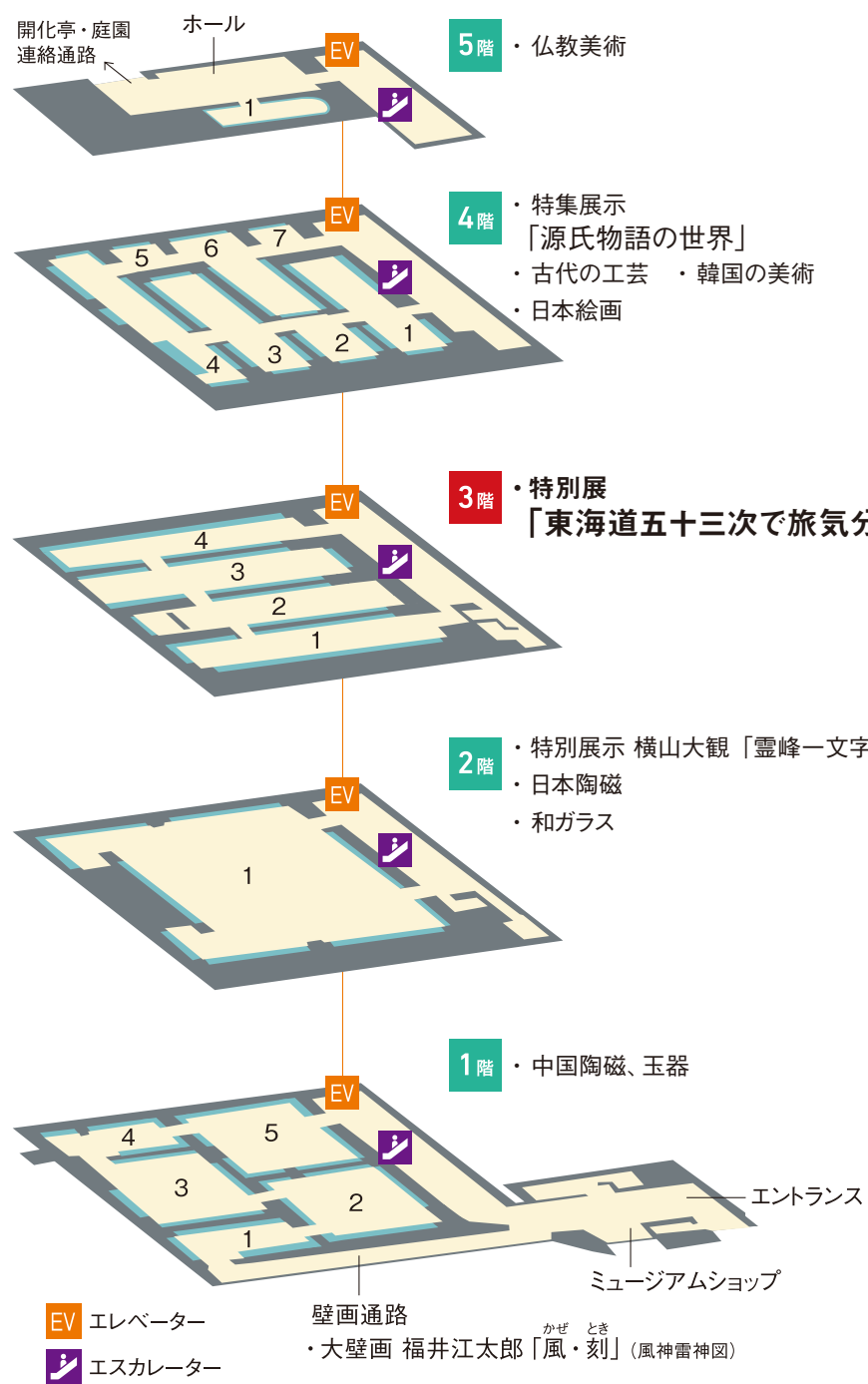


常設展示のご案内

岡田美術館は全5階、展示面積約5,000㎡の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



5階展示室

重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など祈りの世界をご覧ください。

中央「木造薬師如来坐像」平安時代 11世紀 重要文化財
左右「木造二天王立像」平安時代 10～11世紀

4階展示室

平安中期に成立して人気を博した紫式部「源氏物語」にゆかりのある絵画・工芸作品10数件により、優美な「源氏物語の世界」をお楽しみいただきます(第1・2室)。そのほか土偶・埴輪・青銅器など古代の工芸、韓国の陶磁器・絵画を展示。

狩野邦信「源氏物語図屏風」江戸時代後期 19世紀前半
※前期・後期に分けて一隻ずつ展示

1階展示室

中国の陶磁器と玉器(一部に韓国・日本の陶磁器)を展示。とりわけ中国歴代の陶磁器が質・量ともに充実しています。

「黄地青花龍唐草文盤」景德鎮窯 中国・明時代 嘉靖年間(1522～66)

2階展示室

古九谷、鍋島といった肥前磁器や野々村仁清、尾形乾山の京焼など日本のやきものと、カラフルな和ガラスをご覧ください。

「鳥文壺」信楽窯 室町時代 15世紀



東海道五十三次

で旅気分

—富士に琳派に若冲も—
An Artistic Journey Along the Fifty-Three Stations of Tokaido
— Also Featuring Mt. Fuji, Rimpa, Jakuchu, and More —

2024 6/9 SUN → 12/8 SUN

前期 6/9 → 9/12
後期 9/13 → 12/8

歌川広重 「東海道五十三次 草津名物立場」(部分) 江戸時代 天保4～5年(1833～34) ※前期展示

歌川広重 「東海道五十三次 箱根湖水園」(部分) 江戸時代 天保4～5年(1833～34) ※前期展示

次回展予告 御舟・一村と日本画(仮) 2024年12月15日(月)～2025年6月1日(日) ※会期は変更になる場合があります。

アクセス

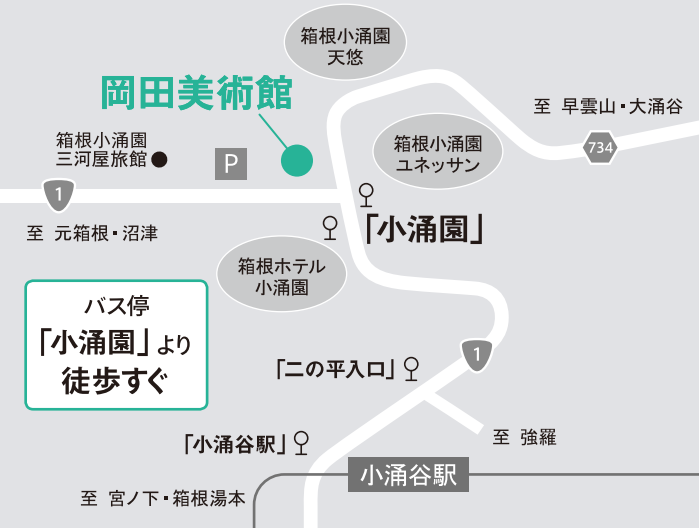
〈電車・バスをご利用の場合〉

新宿 小田急線(特急ロマンスカー)■約90分→箱根湯本駅
①伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②)■約20分→小涌園
②箱根登山鉄道■約35分→小涌谷駅 伊豆箱根バス・箱根登山バス■約2分→小涌園

東京 東海道新幹線「こだま」■約35分→小田原駅
伊豆箱根バス(のりば⑤)・箱根登山バス(のりば③)■約40分→小涌園

強羅 施設めぐりバス■約5分→小涌園

〈お車をご利用の場合〉 ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。
東名厚木IC ▶ 小田原厚木道路 ▶ 箱根IC ▶ 国道1号線 ▶ 岡田美術館【約60分】
東名御殿場IC ▶ 国道138号線 ▶ 宮ノ下 ▶ 国道1号線 ▶ 岡田美術館【約40分】



岡田美術館

OKADA MUSEUM OF ART

午前9時～午後5時 [入館は午後4時30分まで] 一般・大学生 2800円 [2550円] 小中高生 1800円 [1550円]

※ []内は前売り料金。前売券(JTBレジャーチケット、チケットぴあ)は主要コンビニエンスストア並びにチケットぴあにて販売
※団体割引(10名以上)・障害者割引あり/※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料
※展示内容や各種イベントを変更する場合があります。ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1
TEL: 0460-87-3931 (代表) www.okada-museum.com

美術館紹介ムービー

保永堂版「東海道五十三次」

広重が生涯に20種以上制作した東海道シリーズの第一作で、新規の版元・保永堂(竹内孫八)と組み大成功を収めた風景版画。東海道の53の宿場に、江戸日本橋と京都三条大橋を加えた55図から成り、広重と保永堂の出世作となった。

東海道五十三次

で旅気分

—富士に琳派に若冲も—
An Artistic Journey Along the Fifty-Three Stations of Tokaido
— Also Featuring Mt. Fuji, Rimpa, Jakuchu, and More —

歌川広重 (1797~1858)

定火消同心(幕府直轄の防災組織)安藤源右衛門の子として江戸に生まれ、若くして家職を継ぐ。数え年15歳で浮世絵師の歌川豊広(とよひろ)入門。天保年間(1830~44)初め頃より風景版画を制作して人気を集め、晩年は天童藩(現在の山形県)織田家の依頼による肉筆画を数多く手がけた。



富士山と行く、東海道五十三次の旅

江戸時代の美術と楽しむ東海道

旅のスタートは江戸の中心・日本橋



歌川広重「東海道五十三次 日本橋 朝之景」江戸時代 天保4~5年(1833~34) ※前期展示

広重と同年代、江戸琳派の異才



鈴木其「雨中芍薬図」江戸時代後期 19世紀中頃

ゴールの京都に若冲登場!



伊藤若冲「雪中雄鶏図」江戸時代中期 18世紀後半

今も昔も人気、芦ノ湖越しの富士



歌川広重「東海道五十三次 箱根 湖水図」江戸時代 天保4~5年(1833~34) ※前期展示

画面からはみ出るほどの雄大さ



歌川広重「東海道五十三次 原 朝之富士」江戸時代 天保4~5年(1833~34) ※後期展示

2024年は、東海道五十三次の最後の宿場・庄野宿の完成から400年、また箱根駅伝第100回という節目の年にあたります。これを記念し、東海道第十の宿場であり、最大の難所として知られた箱根に位置する岡田美術館で、歌川広重「東海道五十三次」(保永堂版)を中心とした展覧会を行います。

この作品が今なお高い評価を得ているのは、四季折々の美しい景色はもちろん、各地の名所・名物の情報を盛り込み、登場人物を生き生きと描くことで、旅への憧れをかき立てる点にあります。東海道の旅を夢見た江戸の人々もまた、絵を眺めては空想をめぐらせ、家に居ながらにして旅気分を味わったのでしょう。

本展では、富士山を描いた絵画の名品や、京都の人気絵師・伊藤若冲と円山応挙、広重と同時代を生きた江戸琳派の鈴木其一らの作品(約30件)もあわせて公開。江戸から京都まで、展示室で旅気分をお楽しみいただけます。

※「東海道五十三次」全55枚は、前期(6/9(日)~9/12(木))・後期(9/13(金)~12/8(日))に分けて展示します。

長さ約9メートル!

文楽「伊賀越道中双六」岡崎の段で使われた、大迫力の「一文字」★

七里ヶ浜から眺めた江の島と富士山を油絵で



司馬江漢「七里ヶ浜図」江戸時代中期 18世紀末



【2階 特別展示】横山大観「雲峰一文字」(部分) 大正15年(1926)

★舞台上方に飾る幕

会期中のイベント

参加無料(要入館料)※定員あり ※各イベントは変更または中止する場合があります。ご来館前に当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

文化振興プログラム 国指定重要無形民俗文化財「湯立獅子舞」演舞とワークショップ

11月2日(土)午後1時~午後3時(予定)

- 小林忠館長のスライドトーク「江戸時代の街道と宿場」
- 湯立獅子舞(一本剣の舞)演舞
- 箱根宮城野 獅子舞保存会によるワークショップ



湯立獅子舞(ゆたてししまい)とは、箱根町の仙石原及び宮城野の両地区に伝承されている天災や病気を防ぐ悪疫退散や五穀豊穡を祈る行事。2022年、国の重要無形民俗文化財に指定。

講演会 北斎と広重 小林 忠(岡田美術館 館長)

〈申込方法〉

7月27日(土)午後1時~午後2時30分

電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達次第、応募を締め切らせていただきます。電話番号:0460-87-3931

関連講座 絵を読む楽しみ—ガイド本としての「東海道五十三次」— 稲垣朋子(岡田美術館 学芸員) 10月5日(土)午後1時~午後2時30分

関連スライドトーク 旅の終点・京都でやきものを楽しむ—仁清を中心に— 塩谷尚子(岡田美術館 学芸員) 9月21日(土)午後1時~午後2時

◆館長によるスライドトーク 6月20日、8月22日、9月12日、10月17日、11月14日 ※いずれも木曜日 午後1時30分~

◆学芸員によるギャラリートーク 6月21日~11月29日 ※毎週月・金曜日 午前11時~ 月曜:常設展示 金曜:特別展『「東海道五十三次」で旅気分』

※申込不要

名所旧跡からグルメまで

道中の楽しみ、餅を食べて元気回復

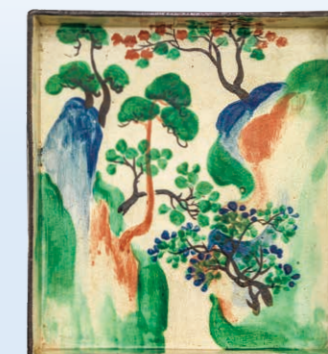


歌川広重「東海道五十三次 草津 名物立場」江戸時代 天保4~5年(1833~34) ※前期展示

『伊勢物語』にも登場、古道「葛の細道」を描く



歌川広重「東海道五十三次 岡部 宇津之山」江戸時代 天保4~5年(1833~34) ※後期展示



尾形乾山「色絵宇津山(葛細道)図角皿」江戸時代中期 18世紀